

# 練馬労連ニュース

練馬区労働組合総連合

2015年7月9日 No.172号

住所：練馬区中村北 1-6-2 東京土建練馬支部会館 4階 TEL.033825-7146 FAX.03-3825-7117

✉ nerima-roren@celery.ocn.jp <<部内資料>>

**お詫び、訂正 171号の発行日が5月26日となっていました。6月19日に訂正します。**

## 練馬駅周辺に響く「戦争立法絶対反対」の声・声・声

～安倍政権は言論の弾圧で憲法違反の法制化を止めろ～

7月1日、労働団体（練馬労連、練馬区労協、全労協練馬）の呼びかけで「戦争法 NO！練馬集会&パレード」が練馬駅北口にある平成つつじ公園で開催されました。二回の実行委員会を開催し、沢山の賛同団体・個人を集める取り組みを行い、150を超える団体個人が賛同者として名を連ねました。集会は1350人の参加で4人の方々が戦争法は絶対だめの立場から訴えました。若者代表の学生9条の会の黒田さんは「アメリカは徴兵制をなくしたが経済的に追い詰めて軍隊に入れるやり方をしている。学生に訴え、反対の声を上げて行きたい」。戦時中、中島飛行場に18歳で学徒動員された体験を話す望月さん。子育て中の扇田さんは「小学の息子がいるが絶対に戦争には行かせない思いで戦争法を阻止したい、子どもに将来なぜ反対しなかったのかといわれたくない。」元連レンジャー部隊だった井筒さんは、「歴代の政府は、海外での戦闘行為は憲法違反で行わなかった。米艦隊を守るなどあり得ない、95%以上の隊員は反対だ。」とそれぞれの立場から訴えました。暉峻淑子氏は閉会の挨拶で労働組合が呼びかけての集会を高く評価しました。閉会后参加者全員で、戦争法阻止、安倍政権の暴走止めろ、安倍はやめろのコールを行い、「戦争する国」にしようとする企てを打ち砕くため、共に立ち上がろうと確認し合いました。集会後、練馬の目抜き通りをパレードを行い通行人に訴えました。1000人を超える集会デモは練馬で初めてだ。もう一度やるように実行委員会に提起したい。等の感想が寄せられました。



## 年金者組合練馬支部第26回総会を開催

5月27日、石神井庁舎を会場に行われました。議長団を選出後、14年度総括、そして15年度の活動方針を決定しました。年金者の生活を根底から覆す、相次ぐ「年金削減」攻撃に対し、行政不服審査請求運動を取り組みました。今、「年金引き下げ違憲訴訟」に踏み切りました。ご支援をよろしくお願ひします。この訴訟を通じ、私たちは将来にわたり、日本の年金制度を守り発展させていく決意を新たにしました。(文責：栗原) 役員は引き続き、委員長、春日茂生さん、事務局長、栗原新蔵さんです。

## 日米外交に新しい風を ～沖縄基地問題と集団的自衛権・安保法制を題材に～

6月21日練馬革新懇主催で上記タイトルにて講演会が行われた。講師は東京共同法律事務所の猿田佐世弁護士で100名参加。日本で起きている問題を米国から見ていくという内容だった。

覇権国アメリカの首都「ワシントン」は人口60万人の都市（練馬区80万人）。米の官僚、世界の官僚から成る都市である。シンクタンクもあり世界中のことを議論している。その中で日本の情報を伝えられる人はわずか5～30人である。

沖縄基地問題1つとってみても、沖縄の人口は2000人位と担当者さえ勘違いしており「基地が増えた方が飛行場増えて沖縄にとって良いのでは。」という全くお門違いの発言もあった。ジュゴンなど全く知らない人が殆ど。こんな状況の中で米の国防権限法の予算案には「新基地は辺野古が唯一の選択肢」と明記されている。

日本の政治家、マスコミはワシントンからの声に躍起になる。ワシントン、東京間の限られた外交チャンネル。米国における情報と日本における情報の格差。「限られた特定の人による日米外交」このことが大きな問題である。米の考えがかわれば日本政府も変わる。米に意識を持ってもらう。米国から日本に「ウン」と言わせるには米の官僚、有識者に日本の情報、日本国民の考えを伝えていくことが重要。米からの圧力で日本政府に「ウン」と言わせることが重要である。（練馬労連副議長 千田 恵美子）

なお、講演の後、練馬革新懇2015年総会が開催され、平和と民主主義を守る行動方針が確認されました。代表委員に菊池弁護士、金田労連議長等10人が事務局長に佐藤康尚氏が選出されました。



## 子どもたちによりよい教科書を！ 民主的な教科書採択を！

今年は、4年に一度の中学校教科書採択の年です。安倍政権が「戦争する国」を目指して、憲法違反の「戦争法案」の強行採決を狙っています。「戦争する国」作りための教育への攻撃の一つが、教科書採択問題です。中学校の歴史や公民の教科書に、憲法を否定し、歴史の真実を歪め、安倍政権の思いを代弁しているような教科書が、検定を通り、各地で今年の採択を狙っています。

練馬区でも、何ともしもこのような教科書が採択されないようにしなければなりません。

・7月21日(火)午後6:00から練馬駅南口で、駅頭宣伝を行います。区内の学校で働く現場の教員が作った「戦争法案反対の歌」も披露します。ぜひご参加ください。

・8月7日(金)午前10時からの教育委員会で、教科書採択が行われます。ぜひ、区役所へ傍聴にお集まりください。